

「シミンの自律と自立を支援する」をミッションに掲げ、地域活性化・組織開発・人材育成などの事業に取り組んでいるNPO法人シミンズシーズの事務局長の柏木さんに「まち」と「ひと」の関わりについてお話を伺いました。

“たのしい”をプロデュースする活動

NPO法人シミンズシーズは、2001年に任意団体として活動を開始し、翌年に法人格を取得しました。設立当初は、加古川市内の市民団体をコーディネートする「中間支援組織」として、地域の横のつながりを強化する役割を担っていました。

「まち」と「ひと」を繋ぐ「コミュニティ・ディネーター」って

NPO法人シミンズシーズ 事務局長
かわのまちほいくえん 園長
かしわぎ 柏木 輝恵 さん

2008年からは兵庫県東播磨県民局にある東播磨生活創造センター「かこむ」の指定管理者となり組織規模も拡大。現在では、企業主導型保育園「かわのまちほいくえん」やコワーキングスペース「かわのまちリビング」の運営も行っています。

その他にも、活動は多岐にわたりますが、その根底にあるのは「楽しいを起点に人をつなぐ」という思いです。地域の人々が自分たちの中から湧き上がる思いを持ち、地域づくりを「自分ごと」として捉えられるよう、その活動を下支えしています。

みんなでつくる「かわのまちマーケット」の成功と広がり

毎月第一日曜日にじけまち商店街で開催している「かわのまちマーケット」は、少しずつ街のイベントとして定着してきました。運営は準備から片付けまで多くのボランティアが担い、中学生から社会人まで幅広い世代の方に積極的に参加してもらっています。特に若い世代にとっては、企画立案や学校以外で年齢の異なる方々と交流する貴重な機会など、やりがいを感じてもらえる場となっていると思います。

このイベントは「まちの人たちと一緒ににつくる」をコンセプトに、事前打ち合わせなどもオープンコミュニケーションとして参加型で進めています。イベントの開催に至るプロセスに主催者だけでなく参加者も関わることで、地域への愛着や当事者意識を育んでいます。

多様な支援とパートナーシップによる地域活性化

シミンズシーズでは、様々な支援のノウハウを基に企業や団体のチームビルディング研修や市民活動と企業をマッチングするコーディネート事業なども行っています。

他にも、かわのまちほいくえんでは、「まちの人と毎日をつくる保育園」を理念に、地域の方々と保護者の得意や「すき」を活かした「まちの先生」による体験活動が、子どもたちの日々を豊かにしています。ハンバーガーやパンづくり、キッチンカーの構造など、子どもたちが知りたいことや地域の方々からの知ってほしいことを通じて学びの機会を提供しています。

このような活動を応援していただける方や、ご興味を持たれた方はぜひご連絡ください！